



にじのはし幼稚園 園だより



令和 4 年 6 月 号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

にじっこガーデンの紫陽花がほどなくきれいな色を付け、雨に濡れて生き生きと輝きそうです。大人が敬遠しがちな梅雨を、子どもたちが心を動かしながら体と頭を使って、雨の日を楽しむ姿と重なります。園庭の水たまりや軒下の雨だれ、葉っぱの上の雨つぶなどは、子どもたちが不思議に思ったり、様々に感じたり、試したりするなど、知的好奇心を誘発する魅力的な自然環境です。6月は雨だからこそできる遊びを楽しみながら、見たり触れたりする直接体験を通して、感性を育てていきます。

にじのはし幼稚園は『社会に開かれた教育課程』を推進しています。

地域と協働して子どもたちの豊かな成長を支え、
地域との関わりの中で育つ教育環境を推進します。



先月は地域と関わりながら楽しく行事を行い、地域と共にある幼稚園教育が充実しました。支えてくださった保護者や地域の皆様には心より感謝申し上げます。

にじっこまつりでは、保護者とお台場アカデミー学校運営協議会委員・地域の方がお店を出してくださり、子どもたちは保護者や地域の方と触れ合いながらやり取りをし、日本の文化である祭り体験を楽しみました。親子ピカピカデーでは、幼児の身近な生き物である魚や鳥の命の話を聞き、赤十字のバンダナを身に付け、親子でお台場海浜公園のごみ拾いのボランティア活動に励みました。身近な地域の自然を大切にすることを通して、SDGsの海や陸の自然を大切にすることを育み、生き物を愛おしむ気持ちの芽生えにつながる体験となりました。

また、お台場学園の大運動会（学習成果発表会）に参加し、小学生のお兄さんお姉さんに見守られながら広い校庭で全学年でダンスをしました。リズムを感じながら伸び伸びと体を動かし、心地よさを感じていました。お台場学園港陽小学校と連携し、小学校との学びの連続性を重視した教育の推進となりました。

このように、幼児期の教育を園内の教員だけで行うのではなく、家庭や地域、小学校と協力し、地域の教育環境を利用しながら行うことで、幼児は様々な人と関わり、豊かな生活体験になります。次第に、自分が生まれ育ったお台場を心のふるさととして愛着をもつことにもつながり、幼児期に必要な心の根っこが育まれます。

本園では今後も、『社会に開かれた教育課程』を推進し、地域と協働して子どもたちの豊かな成長を支えてまいります。

